



令和4年11月15日

スーパーコンピュータ「富岳」のスパコンランキング結果が発表されました

スーパーコンピュータ「富岳（ふがく）」がスパコンランキングにおいて、2部門（HPCG、Graph500）で6期連続世界1位を獲得しましたのでお知らせします。
（同旨発表：理化学研究所、富士通株式会社等）

【1. スーパーコンピュータ「富岳」】

スーパーコンピュータ「富岳」は、我が国の科学技術の発展、産業競争力の強化に資するための最先端の研究基盤として、世界最高水準の汎用性のあるスーパーコンピュータの実現を目的として平成26年度より開発を開始しました。

令和2年4月からは、整備中の「富岳」を活用して緊急的に新型コロナウイルス感染症対策に貢献する研究課題を実施し、その高い性能を活用したシミュレーションにより得られた成果が感染症対策の検討に活用されてきました。

当初は、令和3年度の共用開始を目標に整備が進められていたところですが、新型コロナウイルス感染症への対応を含め、我が国が直面する課題の解決や科学技術の発展、産業競争力の強化へ可能な限り早期に貢献していくため、当初予定を前倒し、令和2年度末（令和3年3月9日）に共用を開始しました。

共用開始後は、一般・産業利用課題のほか、「富岳」成果創出加速プログラムの本格的な利用が開始されています。また、本年6月からは、気象庁と連携した線状降水帯の予測に関する研究に活用されるなど、国民の安全・安心な生活に資する研究をはじめとした産学官の幅広い分野において、多様な成果が創出されるよう、様々な取り組みを進めています。

【2. スパコンランキング】

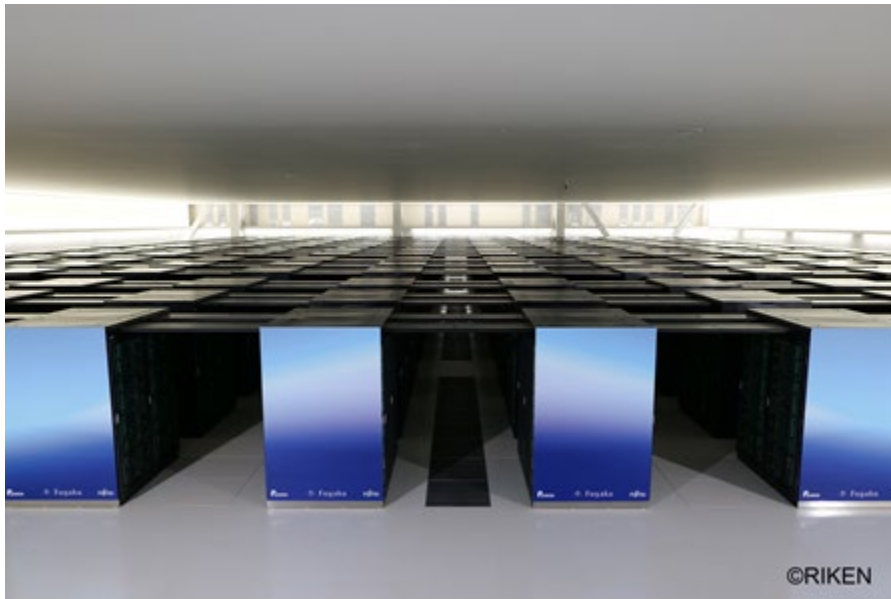
本ランキングは、米国で開催されているハイパフォーマンス・コンピューティング（HPC）に関する国際会議“SC22”（オンライン併用）にあわせて、11月14日（日本時間11月15日）に発表されました。

「富岳」は、今回発表されたスーパーコンピュータの性能を評価する様々なランキングのうち、HPCG（アプリケーション実行性能）及びGraph500（ビッグデータ処理性能）において、今年5月に発表されたランキングに引き続き、6期連続で世界1位を獲得しました。

※ 各ランキングの詳細などは、11月14日付の理化学研究所および富士通株式会社等の発表資料をご覧ください。

文部科学省では、「富岳」を国民共有の財産として、より一層幅広い方にご利用いただくために、誰もが利用しやすい環境を整えるとともに、健康医療、防災・減災、エネルギー、ものづくりなど我が国の社会的・科学的課題の解決に貢献する画期的な成果の創出に向けて、引き続き取り組んでまいります。

また、本年8月からは、産学官連携によるポスト「富岳」時代の「次世代計算基盤に係る調査研究」を開始しており、今後、具体的な性能・機能等の検討を進めてまいります。



スーパーコンピュータ「富岳」

<担当>

文部科学省 研究振興局 参事官（情報担当）付 計算科学技術推進室

参事官補佐 谷本 順矢（内線 4081）

企画推進係長 中野 孝一（内線 4287）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-4275（直通）

（「富岳」について）

国立研究開発法人 理化学研究所 神戸事業所 計算科学研究推進室

広報グループ 岡田 昭彦

電話：050-3502-3691 <https://krs2.riken.jp/m/media-form>

富士通株式会社

富士通コンタクトライン（総合窓口）

電話：0120-933-200

※9時～12時および13時～17時30分（土曜・日曜・祝日・富士通指定の休業日を除く）